

有明ニュース



癌研有明病院
The Cancer Institute Hospital of JFCR



平成 20 年 5 月号 No.4

〒135-8550 東京都江東区有明 3-10-6

TEL 03-3520-0111(代表)

(URL): <http://jfc.or.jp>

患者様向け、情報コーナー

病院長就任のご挨拶

病院長 中川 健(なかがわ けん)



このたび武藤徹一郎前院長の後を受けて、4月1日付けで院長に就任しました。とはいえ院長が交代しましても、病院の目指す方向に違いの出る筈はありません。創立から100年になる歴史のある癌研ですが、2005年3月の有明移転は古い病院の踏襲ではなく、新たな癌研有明病院の創業でした。この3年は新しい環境、新しい診療体制の下、臓器別診療、チーム医療を新しい診療の柱として、ひたすらそれが定着するように努力してきました。そして皆様が診療の場を当院でと選んで下さったお陰で、今日癌診療施設としては最も優れた施設と評価されるに至ったと感謝申し上げます。

今後とも、がんに対する新しい治療の創造、質の高い医療の提供、親切な医療の提供、職種をまたがる診療の協調体制構築を、職員一同の共有する価値観として、皆様により良いサービスが提供出来るよう努力してゆく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

当院が「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されました。

当院は、平成19年10月30日に厚生労働大臣により「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されました。*東京都では 東京都立駒込病院と当院の2病院が指定を受けております。

がん診療連携拠点病院とは

全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向けて、地域のがん診療の連携の拠点として地域のがん医療水準の引き上げを行う病院を「がん診療連携拠点病院」として、都道府県の推薦に基づき厚生労働大臣が指定しています。「がん診療連携拠点病院」には、都道府県の中心ながん診療機能を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」(都道府県に1カ所程度)と、「地域がん診療連携拠点病院」(二次医療圏に1カ所程度)とがあり、4年ごとに指定が更新されます。



当院の専門看護師・認定看護師紹介

当院の専門看護師・認定看護師(2008年5月12日現在)

専門分野	当院人数	全国人数
がん看護専門看護師	3名	104名
緩和ケア認定看護師	3名	420名
皮膚・排泄ケア認定看護師	3名	568名
乳がん看護認定看護師	1名	51名
がん化学療法看護認定看護師	1名	203名

今号では、乳がん看護認定看護師の活動についてご紹介します。

<乳がん看護認定看護師>

乳がん看護認定看護師は乳がん看護の専門的知識と経験を生かして、乳がん患者さんやご家族に対してケアを提供する看護師です。

具体的な役割としては、乳がん告知後の心理的サポート、治療方法選択時のアドバイスやサポート、乳がん治療に伴う副作用、後遺症への対応などがあります。患者さんへの対応とともにご家族のサポートも考慮したケアを提供するために、乳がんの治療に関わるすべてスタッフと協力しチーム医療の一員としてケアを担当していきます。また、「リンパ講習会」と称して、週1回(毎水曜日の午前)乳がん患者さんを対象としたリンパ浮腫の外来を担当しています。リンパ浮腫は正しい情報を得て早期に対応することで悪化を防ぐことができます。浮腫に対して無関心でいることが1番の悪化の原因です。院内におけるリンパ浮腫の知識とケア技術の普及活動として、セラピストや浮腫に関係する外来・病棟看護師とともに月1回の会議や講習会を行っています。



「リンパ講習会」の外来では浮腫のご相談と一緒に、ホルモン療法や化学療法による副作用の相談や手術後の創部の痛み、リハビリテーションの方法などのご相談を受けることが多くあります。乳がんの治療を受けている患者さんにとって、リンパ浮腫のケアも薬物療法による副作用へのケアも大切なことです。30分間のご予約という限られた時間でのお話になってしまいますが、患者さんにとって一番良い方法を一緒に考えていきたいと思っております。

患者さんと面談中 武石優子

乳がんは女性のがん罹患率の1位を占め、年々増加の傾向にあります。その多くは40~60代の家庭や社会において大きな役割をもった方々です。そのため、仕事を続けながら、育児をしながら、介護をしながら治療を受けているという患者さんは決して少なくありません。乳がんになったから我慢する生活を送るのではなく、どのように工夫したら生活を楽しむことができるのかを一緒に考え、乳がん患者さんやご家族のサポートをしていきたいと思っております。



レディースセンター 乳腺科(乳腺外科)

スタッフ紹介



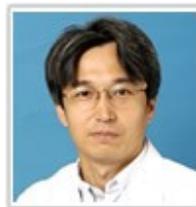
岩瀬 拓士
乳腺科部長



蒔田 益次郎
(医局長)



多田 敬一郎
(医員)



西村 誠一郎
(医員)



宮城 由美
(医員)



飯島 耕太郎
(医員)



森園 英智
(医員)



木村 聖美
(医員)

その他スタッフ

羽生田 信子、田村 美規、服部 正也、甲斐 昌也、岩崎玲子、小石 彩、中村 卓、市川 絵里、井手 佳美、西川 紀子、福田 貴代、野田純代、稲尾瞳子、佐文明子

当科の特徴

乳がんの患者さんは増加の一途をたどり、またマスコミでもしばしば取り上げられるように、社会的にも関心が高くなってきています。当院の乳がん治療数は開院当初から国内最多の件数を誇り、これは現在まで破られたことがありません。またその増加傾向は当院も例外ではなく、手術数は10年前のおよそ2倍になっています。

私たちは外科の一部門として主に手術を中心とした治療を行ってきましたが、有明病院開院を期に化学療法科・放射線治療科と一緒に、“乳腺科”として協調して診療を行うことができるよう、外来は30番、入院は9階東病棟を中心に乳腺グループ一体となったチーム医療を展開しています。乳がんの治癒向上のためには薬物療法・放射線療法などのコンビネーションがととても重要です。当然その診断のために検診・画像診断・病理が必須であり、術後のケアとしては理学療法科、腫瘍精神科、さらには症状緩和・終末期ケアのための緩和ケア・医療連携室などとの連携も欠かせません。つまり、癌研の多くの部門の方のご協力があって、初めて乳がんの診療が成り立つものと考えています。

他部門の方も同じと思われるかもしれませんが、診療数の増加によって業務負荷が非常に高くなっており、その患者さんをどのように采配するかが現在の緊急の課題です。しかし、多忙に悩殺されることなく、チーム全員患者さんひとりひとりにしっかりと向き合って診療することを目標にがんばっています。また私たちの責務には、レジデントの臨床教育、治療データや研究成果を発表するという癌専門病院の使命があります。乳がん診療に長けた医師を輩出し、日本の乳がんの診療水準を上げることも積極的に行っていきたいと考えています。

年次の手術数

1997年 604件	1998年 626件	1999年 648件	2000年 680件	2001年 757件
2002年 703件	2003年 785件	2004年 815件		
2005年(3月から有明移転) 731件	2006年 961件	2007年 1,076件		

医療機関向け お知らせ

看護師募集

7:1 看護にするために

日本で最初にできたがんの専門医療機関として「患者さんのための医療」に力を尽くしていますが、今後、さらにより良い医療の実現とさらに発展させるために、看護師を大きく増員し、これまで以上に手厚い看護(7:1看護)で医療の質を高めたいと考えております。(7:1看護とは患者さん7人に対し看護師が1人配置される看護体制です。現在は10:1看護で行っております。)

あなたのやさしさを『がん看護』に…
まずはお気軽にお電話下さい。
ご応募お待ちしております。
お問合せ ☎03-3570-0398(人事課)
☎03-3570-0392(看護部)

先生方へご案内

医療連携室では、医療機関の先生方からご紹介患者様の診察予約をお取りしております。また、経過報告書の管理、診察に関するご案内等を行っております。お問い合わせの窓口としてご信頼いただけますように、迅速・確実な対応を心がけて行きます。ご紹介方法について 電話・FAX でお申込みいただけます。(お急ぎでない場合は患者様自身にお電話いただき予約することもできます。)

連携医療施設の登録のご案内

当院との医療連携が密接な医療機関に、「連携施設」となっております。連携施設にご登録いただけます先生方は、医療連携室へ電話もしくはメールにてお問い合わせくださいますようお願いいたします。当院は、地域医療機関と協力して地域医療の推進に努めます。

連携施設 206 施設 (2008年5月16日現在)

募集要項

専門医育成 短期研修生 募集 BC Academia(乳癌治療専門医養成研修)

癌研 BC Academia とは、乳がん治療の専門医を目指す若手研修医を対象に、乳がん治療の臨床におけるスキルアップをはかり、将来の乳がん治療全体の向上を目的とした、研修プログラムです。

次回研修期間 : 第5回 2008年2月23日(月) ~ 2月27日(金)

http://www.jfcr.or.jp/recruitment/bc_academia.html

癌研有明病院は、(株)じほうヴィゴラスに癌研 BC Academia 事務局業務を委託しております。

お問い合わせは下記事務局までお願いいたします。

癌研 BC Academia 事務局(株式会社 じほうヴィゴラス内 担当 工藤)

Fax:03-3222-0614

e-mail: onco.ph@vigoroushc.jp

財団法人 癌研究会有明病院 発行: 医療連携室

TEL 03-3570-0506 FAX 03-3570-0254 (E-mail): renkei@jfcr.or.jp